

回避は遺^レ...

外務省発表

外務省情報文化局の見解要旨は次の通りである。

わが方は竹島が日本国に属するものなることについては一点の疑いを有しないものであるが、韓国側がたとえ誤れるにせよ、それと異なる主張をしているのもっとも公正にして権威あるヘーグの国際法廷の裁断を求めべきことを提議したものである。

しかるに今般韓国政府が国際法廷を回避する態度に出たのは意外とするところであり、真に遺憾にたえない。日本国政府の提

訴を韓国政府が依然拒否する限り竹島に関する一切の紛糾についての責任は当然韓国政府において負うべきものである。